

SEMICON[®]
Japan2013

出展のご案内

平成25年12月4日(水)・5日(木)・6日(金)

10:00~17:00

幕張メッセ 国際展示場

ホール5 化学物質対策パビリオン C5-007

NITEは、12月4日から幕張メッセで開催される「セミコン・ジャパン2013」に出展いたします。
化学物質管理に関する情報提供サービス(CHRIP)や有害性評価支援ツール(HESS)についてご紹介いたします。
ご来場の際は、NITEブースに是非お立ち寄りください。皆様のお越しをお待ちしております。

CHRIPの活用方法に関するセミナー

日時: 12月6日(金) 14:30~14:50

場所: TechSTAGE EAST

※展示会は全来場者登録入場制です。(入場料無料)

セミコン・ジャパン 2013 ホームページ
<http://www.semiconjapan.org/ja/>

TechSTAGE
EAST

先端エレクトロニクス
パビリオン

化学物質管理対策
パビリオン

ホール6
入口

nite

ホール5
C5-007

ホール5
入口

nite National
Institute of
Technology and
Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

出展内容:

化学物質管理に関する情報提供サービス(CHRIP)

「化学物質総合情報提供システム」(通称:CHRIP(クリップ))は、化学物質の番号や名称等から、有害性情報、法規制情報及び国際機関によるリスク評価情報等を検索することができるシステムです。

各法規制対象物質や各機関の評価物質等を一覧表示することができます。

CHRIP <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
(英語版) <http://www.safe.nite.go.jp/english/db.html>

CHRIPは、次のような機能を搭載しています。

総合検索

化学物質の番号や名称、構造式から、目的の物質の総合情報(有害性情報や法規制情報等)を検索することができます。

個別リスト一覧表示

各法規制対象物質や各機関の評価物質等を、個別のリスト毎に一覧表示することができます。

一覧から物質を特定することで、総合情報(有害性情報や法規制情報等)をご覧いただくこともできます。

総合情報表示

個別の化学物質について、以下の情報が表示されます。

一般情報、暴露情報、国内法規制情報、各国インベントリ、規制等情報、各国有害性評価情報、物理化学性状情報、環境毒性情報、健康毒性情報

また、内外関係機関のシステムのリンクにより、詳細な情報を入手することができます。

●国内機関へのリンク

J-CHECK(NITE)、PRTRマップ(NITE)、GHS分類結果(NITE)、職場のあんぜんサイト(MHLW(厚生労働省))、JETOC、ENV(環境省HP)、NIHS(国立医薬品食品衛生研究所)

●海外機関へのリンク

ESIS(EU)、ATSDR(米国有害物質疾病登録局)、BUA(ドイツ化学会諮問委員会)、EC(カナダ環境省)、IPCS(国際化学物質安全性計画)、EPA(米国環境省)など

反復投与毒性を対象とする有害性評価支援ツール(HESS)

現在、欧米を中心に施行されている化学物質管理制度では、新規化学物質や既存化学物質の有害性評価を事業者が主体となって行わなければならないケースが増加しており、有害性評価を低コストかつ効率的に予測できるin silico*1モデルの開発、活用が進んでいます。

NITEでは、試験データのない化学物質の反復投与毒性*2の評価を支援するための世界初のツールとして「有害性評価支援システム統合プラットフォーム」(通称:HESS(ヘス))をNEDO/経済産業省からの委託事業で開発し、ホームページから無料で公開しています。

HESSの詳細情報及びユーザー登録など:

<http://www.safe.nite.go.jp/kasim/qsar/hess.html>

HESSを用いることにより、化学物質の反復投与毒性にかかわるデータの有無の確認や反復投与毒性が未試験の化学物質を試験済みの類似な化学物質のデータから評価することなどが可能です。

※1:「コンピュータを用いて」の意味。実際に試験や測定を行わず計算で結果を予測する手法のこと。

※2:動物に化学物質を一定期間毎日反復投与することによって現れる化学物質の毒性(生体機能の変化など)